

情報公開文書

研究課題名	熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査（Heatstroke STUDY）
研究期間	西暦 2017年 5月 25日 ～ 西暦 2026年 3月 31日
研究の目的と意義	暑熱環境による熱中症に関して、夏季になると多数報道されますが、本邦における熱中症、特に重症の場合の実態は、十分に解明されていないのが現状です。本研究は、重症熱中症の全国規模の実態調査であり、原因や病態の解明および治療や予後の実情を把握し、発生の予防に向けた地域医療へのアプローチを検討することを目的に行います。
研究方法	2017年から2025年までの毎年7月1日から9月30日までに帝京大学医学部附属病院高度救命救急センターおよび当院を含む日本救急医学会指導医指定施設、救命救急センター、大学病院ならびに市中の救急部の中で研究への協力が得られた救急医療施設において、熱中症と診断された全ての患者さんが対象となります。なお、外来診療のみで帰宅となった患者さんは除外します。 各医療機関の診療録の中において、年齢、性別、来院方法、発生状況、現場でのバイタルサイン、既往歴、生活歴、来院時の所見（身体所見・検査所見など）、発生原因、治療法および転帰に関する情報を匿名化して、日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会にWeb登録を行います。その後、集計・解析を行い、発生予防を含めた対策について検討を行います。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	個人情報の保護のため、登録については無記名であり、個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号等）は入力されないため、対象者個人の不利益になることはありません。日本救急医学会熱中症に関する委員会および各所属施設の倫理委員会などの承認を受けた解析担当者のみが登録された情報を利用できます。 日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会における情報管理責任者は委員長の横堀将司です。 対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
研究組織	研究代表者： 帝京大学医学部 救急医学講座 三宅 康史 共同研究機関：以下の中で研究への協力が得られた救急医療施設 帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター 日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会 日本救急医学会指導医指定施設 救命救急センター 大学病院ならびに市中の救急部

結果の公表	この研究の結果は、研究に関連する学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報を守られます。
問合せ先	研究責任者： 京都第二赤十字病院 救急科 成宮 博理 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL：075-231-5171（代） FAX：075-256-3451（代）